

アセスメントシート

氏名 米田 誉 様

記入 相談支援専門員 藤山

項目		介助が いるか	程度	項目		介助が いるか	程度		
日常生活面	起居動作	起き上がり	☐	衛生保持	手洗い	☐			
		寝返り	☐		爪切り	☒	深く切ってしまうので、見守りが必要		
	姿勢保持	座位	☐		耳掃除	☐			
		立位	☐		月経	☐			
	移動	屋内	☐	行排泄	排尿	☐			
		屋外 (徒歩)	☐	排便	☐				
	衣類着脱	着脱行為	☐	食事全般	飲食行為	☐			
		服装の選択	☒		食事状況	☒	好きなものだけを食べることが多い		
	整容行為	季節や気温に応じた調整は難しい。 黄色やオレンジ等、暖色系のものを 好む。	着脱行為	☐	食事の後片付け	☒	下膳はするが、家事として他のことはし たことがない。スーパーでは、調理器具 を洗浄していた。		
			服装の選択	☒	調理全般	調理	☒	インスタントラーメンにお湯を入れる、 レンジを使うなどの簡単なことはでき る。他はしたことがない。スーパーでは 盛り付けなどをしていた。	
	整容行為			歯磨き		☐	安全確認	☐	声掛けが必要
				洗顔	☐	入浴全般	入浴の準備 と片付け	☒	お湯張りはできる。浴槽掃除はしたこ とがない。
				整髪	☒		入浴	☐	
		ひげ剃り		☐	家事全般	洗濯	☐	洗濯機を使うことはできる	
		化粧		☐		洗濯物干し	☒	形を整えて干すことが難しい	
	掃除	☒	自分からはやらない。目立った汚れを 掃除することはできる。汚れが見えな いと、雑な掃除になってしまう。						
	コミュニケーション	意思の表現方法							
		・言葉でのコミュニケーションができる。ただ、家族以外との会話では自信のなさや緊張から言葉に詰まることが多いため、声が小さい。また、自分から言葉を発することはほとんどない。人から話しかけられると、簡単な受け答えはできる。就職していた頃は母くらいの年齢の人には可愛がられていた。大きな声で一方向的に話をする人が苦手な、分かりやすい言葉で具体的に話をしてくれる人や優しい雰囲気の人には慣れてくると話す。 ・スマホを使用することができ、家族とは電話やメール等で簡単なやりとりができる。家族以外とは、電話だと緊張して話せない。 ・就労継続支援B型事業所での体験時は周りにも可愛がられ、落ち着いて仕事ができていた。							

社会参加・移動	好きなこと			嫌いなこと					
	・アニメ・卓球・音楽鑑賞(紅白歌合戦が好き) ・ドラマ鑑賞・家族や友人とのドライブ			・うるさい場所・怒りっぽい人・大声で話す人 ・不良っぽい人・ぐいぐい話してくる人					
	移動の方法			社会活動					
家庭生活	どこでだと暮らしているか？			介護者の状況					
	自宅からグループホーム移行予定			両親共に健在。本人を大切に思っているが、障がいについては理解しているようで理解できておらず、やればできると思っていた。しかし、少しずつ理解は始めている。姉は福祉業に従事しており、必要時は動いてくれる。弟は双子で次男は県内の大学、三男は県外の大学に通っており、本人との関わりは少ない。					
	家庭での主な介護者								
	母 親								
経済状況	主な生活財源			預貯金等					
	・障害基礎年金 ・就労による収入 0円/月			・預貯金 ※母が管理のため不明					
	☒ 基礎年金 (2級) ☐ 障害者特別手当 ☐ その他								
行動面	項目		介助が いるか	程度		項目	介助が いるか	程度	
	行動面での障害1	こだわり行動	☒	教えてもらったルートでないと通勤が難しい(一般就労していた時、通勤ルートが工事で通れず出勤できないことがあった)		感情思考の障害	感情不安定	☐	
		徘徊	☐				過大・過小評価	☒	
		無断外出 無断外泊	☐			<特記事項>			
		錯覚・幻視・幻聴	☐			・これまでの厳しい躰やつまずき、叱責などから、自信がなく自己肯定感が低い。			
		被害妄想	☐			・自分の考えや決定よりも他人の言葉を尊重する(言われた通りにやる)ことで安心を得ているため、確認しないと不安が強くなり、今までできていたことでも確認することが多くなる。特に新しいことには不安を抱きやすく行動できないことが多いため、情報提供をしたり、やって見せたり、繰り返し経験することが重要だと考える。また、周囲の援助や助言をもとに成功体験を積み重ねることで自信が持て、多くのことにチャレンジできる可能性があると思われる。			
		自殺願望・企画	☐			・内向的で感情を表に出すことがほとんどないため、どのようなことでストレスを感じるのか等、ストレスへの耐性については周囲も分からない。しかし、時々手で顎を強く押す行為があるため、それがストレスの表現ではないかと推測できる。			
		不潔行為	☐			・現在は、自宅で何もせずに過ごしている生活が長くなっていることで生活リズムが安定していない。また、家族以外の他者との接点がなくなっているため、支援の介入によってこれらを改善する必要があると考える。			
		異食行為	☐						
		収集癖	☐						
		物忘れ	☐						
		反社会的行為 (盗癖、虚言など)	☐						
	行動面での障害2	自傷行為	☒	ストレスが募ると、手で顎を強く押す ※幼少期は手の甲を噛む行為があった					
		他者に対する 粗暴行為	☐						
		器物に対する 粗暴行為	☐						
		奇声や騒がしさ	☐						
		パニック	☐						
		多動・行動の停止	☒	初めてのことは確認するまで行動できない。注意を受けると動けなくなる。					
		思考障害	☐						
						その他			
						・こだわりとみられる行動や行動の停止などは、自信がないことが大きな要因であると推測される。そのため、周囲の援助や安心できる関係性と成功体験を積み重ねることで、それらの状態が緩和する可能性があると考えられる。			
						・両親はこれまでの関わりが本人を追い詰めていたことに気づき、本人の障がいや状態を理解しは始めている。本人も「自分の気持ちが言えて嬉しかった」と話しており、両親と本人の関係性が変化しつつある。			